

意見の概要および市の考え方

No	意見の概要	意見数	市の考え方
第3章 彦根市多文化共生推進プランの基本目標について			
1	「ともにいきいきと暮らせるまち ひこね」を「外国人と日本人がともにいきいきと暮らせるまち ひこね」に訂正し、誰がいきいきかを明確化の方が良い。	1件	同項目にて、「ともにいきいきと暮らせるまち ひこね」の説明として、「ともに」を「すべての市民」と定義しておりますので、修正いたしません。
「ユニバーサルデザイン」の語句			
2	「文化や言語等の違いになどに関わらず」というよりは、「すべての人が使いやすいように製品・建物・環境等をデザインすること」の印象が強く、「ダイバーシティ」の方が意味が近いのではないか。または削除してもいいのではないか。	1件	次のとおり修正します。「年齢や性別、文化や言語の違いにかかわらず、すべての人が暮らしやすいように配慮した環境をつくること」
第4章 施策の展開			
3	全体像を表示する	1件	ご意見のとおり修正します。
4	外国人住民にとって分かりやすく、興味のひく表現や内容の情報を発信するため、「外国人住民情報会議」の開催	1件	多文化共生のための施策を計画的かつ総合的に推進するため、庁内において「彦根市多文化共生推進施策調整会議」を開催しておりますので、当プラン内の「関係部局と横断的な連携」において追加修正します。また当会議等でのテーマとして、外国人住民等への情報発信の仕方について、引き続き協議してまいりたいと考えています。
5	「労働基準監督署などと連携して、外国人労働者の適正な雇用に関する情報を共有し、支援体制の充実を図ります。」を「(省略) 支援体制の充実を図るとともに、企業等に必要な指導監督・措置等を行います。」	1件	本市には、指導監督・措置に対する権限がないため、引き続き労働基準監督署に協力・支援を依頼してまいりたいと考えています。
6	取組提案 ① 「外国人住民ほっとライン」のような相談窓口の設置	1件	現状として、通訳を配置している所属において、相談も受け付けています。外国人住民に分かりやすい相談対応の方法等について、引き続き、協議してまいりたいと考えています。

7	取組提案 ② 要介護者の支援会議のような、関係者での連絡調整会議の開催	1件	多文化共生のための施策を計画的かつ総合的に推進するため、庁内において「彦根市多文化共生推進施策調整会議」を開催しておりますので、当プラン内の「関係部局と横断的な連携」において追加修正します。
8	取組提案 ③ 学校にいていない児童等が何人で、どのように過ごしているか把握が必要	1件	当プラン内の「学校生活を安心して送れるような体制づくり」において、「外国人児童生徒の現状や動向を把握するために、定期的に不就学の実態調査などを実施します。」をあげています。
9	取組提案 ④ 地図などで団体や取組等をまとめ、不足状況を把握・改善	1件	当プラン内の「多様性を活かした地域の活性化の環境づくり」において、次のように追記修正します。 「住民に対して、市民団体等の活動に関する情報を提供します」
10	取組提案 ⑤ 各主体の具体的な取組の紹介	1件	当プラン内の「多様性を活かした地域の活性化の環境づくり」において、次のように追記修正します。 「住民に対して、市民団体等の活動に関する情報を提供します」
11	取組提案 ⑥ 関係機関連絡会議の設置・開催	1件	多文化共生のための施策を計画的かつ総合的に推進するため、庁内において「彦根市多文化共生推進施策調整会議」を開催しておりますので、当プラン内の「関係部局と横断的な連携」において追加修正します。また、当プラン内の「関係団体などとの連携」などの項目において、あげております。進捗状況については、当プラン内の「プランの進行管理」において、「(仮称)彦根市多文化共生推進委員会」で行うことをあげています。
12	取組提案 ⑦ 「外国人住民サポーター(制度)」づくり	1件	現在、「彦根市多文化共生サポーター」制度において、各種多文化共生施策の推進をしています。当プラン内の「外国人住民キーパーソンの把握・養成」において、これまで応募が少なかつ

			た、外国人住民のサポーターを募集し、外国人住民の生活等において、一層の充実を図ろうと考えております。また、引き続き、「彦根市多文化共生サポーター」の役割について協議してまいりたいと考えています。
13	取組提案 ⑧ 外国人住民対応の正規職員の増員	1 件	多文化共生の推進は担当課のみならず、市全体で取り組むものであると考えております。また、当プラン内の「通訳・相談機能の整備と充実」において、外国人住民への対応する職員としては、通訳員の配置や相談員の配置をあげており、よりきめ細かいサービスの向上に努めてまいりたいと考えています。
14	地域コーディネーターとしての公民館職員の活用、その機能の明示、その業務評価方法の明示	1 件	当プラン内の「多文化共生に関する啓発活動の推進」において、市職員に対し、多文化共生に関する研修を実施することをあげており、その市職員の中に公民館職員も含まれております。引き続き、公民館職員を含む市職員の多文化共生意識の向上に努めていきたいと考えております。
(本プラン全体にかかるもの)			
プランの名称等について (副題をつける)			
15	彦根市多文化共生推進プランー外国人住民の生活等支援の取組みを拡充するためにー 外国人住民の生活・教育支援等が重要・目的であり、素案第 1 章で補足説明 (明記) する。	1 件	支援は、当プランでの取組の中でも重視していることの一つですが、支援のみを取り組むものではありませんので、修正いたしません。ただし、ご意見のとおり、より分かりやすい表題とするため、次のとおり副題をつけることとします。 「彦根市多文化共生推進プランーともにいきいきと暮らせるまち ひこねー」
構成・形式・表現等に関するもの			
16	「第 2 章 外国人住民の現状」において、外国人住民の置かれている状況・支援の取	1 件	第 2 章で彦根市の外国人住民のデータを中心に記載し、また第 4 章で外国

	り組み等を追加する。		人住民の置かれている状況・支援の取組を記載しており、記載内容が重複するため、修正いたしません。
--	------------	--	---